



一宮市三岸節子記念美術館

名古屋駅一（東海道線）一尾張一宮駅一
名鉄バス2番乗り場一三岸美術館前

1998年生家跡地に開館。土蔵を改修して、先生愛着の品々が、生前と違ってキチンと並べられた土蔵展示室を始め、織物工場を思わせるのこぎり屋根、ヴェネチアの運河をイメージした水路、彼女が愛した白い花咲く木々と、節子の思い出と深くかかわるデザインの本館です。片隅の喫茶コーナーで、憩いの一時を過ごしましょう。子供と一緒に家族連れも多く、市民に愛されている小さな美術館です。 **月曜休館**



花より花らしく

年 九龍堂発行

先生のその時々のお話を語った随筆を編集。真摯で頑固で優しく、とても可愛い人柄が分ります。



A 46x38



B 47x32



C 55x44



D 57x39



F 57x38



G 57x39



H 57x38



I 41x32



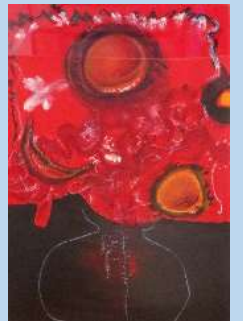
J 39x53



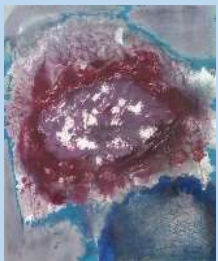
K 46x38



L 46x38



M 56x38



N 45x38



O 52x39



P 46x38



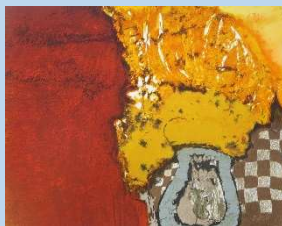
Q 57x38



R 57x38



S 49x40



T 39x49



V 56x38



W 47x34



Z 46x38

札幌の三岸好太郎美術館

節子先生の献身的努力で建設された緑の中の静かな美術館です。たった10年間を走り抜けた天才画家の変遷は、激しく奔放です。



悲しい位に静かに語っています。

全作品『花』
限定・リトグラフ